

デライト式

# 持ち味カード

スチューデント版  
*for Student*

【制作・著作】 デライトコンサルティング株式会社  
代表取締役 近藤 圭伸  
取締役ディレクター 岸 孔司

【制作協力】 有限会社パスカル  
代表取締役 守安 大樹  
キャリアコンサルタント 谷田 明代



Delight Consulting

個人と組織の成長をはかり社会に貢献する

デライトコンサルティング 株式会社

〒461-0001名古屋市東区泉2-26-1 ホウコクビル

TEL : 052-937-5615 FAX : 052-937-5620

Email : info1999@delight-c.com

URL : <http://www.delight-c.com>



注) 「持ち味カード」の項目および記載内容は、環境の変化や「持ち味カード」を使っていたいみなさんの声によって、改善、レベルアップをはかっていきます。予めご了承ください。



持ち味カード  
スチューデント版  
解説書

© Delight Consulting

スチューデント版は中学生から大学生までの学生を対象にしています

ご挨拶

# 学生の皆さん、 自分の『持ち味』に気づいていますか!?

皆さんが将来、希望のあるワクワクした人生を築くためには、自分の持ち味に気づき、その持ち味をフルに活かすことが大切です!

そのような人生を送ることができれば、誰もが幸せな人生を獲得でき、社会に貢献することができます。

弊社では、皆さんが自分の「持ち味」に気づき、活かしてもらうことは、自分らしく生きる拠り所となり、ひいては組織（クラス・クラブ・チーム・学校など）の成長や社会全体の発展にとっても意義のあることと考えています。

このような観点から「持ち味カード」スチューデント版を制作しました。

ぜひ、「持ち味カード」を活用して、日常の学校生活や社会生活の中で、意識して自分の持ち味を発揮し、皆さんらしい輝く人生を獲得していただきたいと思います。

最後に、教職員の皆様、ご両親におかれましては、「人としての成功は、自分の持ち味を活かすことにある」と考え、学生の皆さんが自分の持ち味を発揮する手助けや環境づくりの支援をしていただければ嬉しく思います。

デライトコンサルティング株式会社

代表取締役 **近藤 圭伸**

# 自分の良さに気づけば、道は開ける！

私は、社会人2年目に病気で歩けなくなり長期入院、仕事も退職しました。

普通科高校から大学、そして研究職と、漠然と歩んで来た人生に、大きな分岐点がやってきたのです。「どう生きる」のかと、初めて向き合うことになりました。

壁にぶつかると、できないことに目がいきがちです。そして前に進めなくなるものです。

しかし、できることに目を向け伸ばしていけば、道は開けていくと経験的に思います。

私をはじめて行った「持ち味カード」を使ったワークショップでは、他者からこんな風に見られているのかを知り、とても嬉しく自信になったり、また、こんな良いところが自分にはあるのかという驚きもあったりしました。

この経験から、進路や就職で岐路に立つ皆さんに、「持ち味カード」を活用していただき、ぜひ自分の持ち味と向き合ってもらいたいと願っています。

有限会社パスカル

代表取締役 **守安 大樹**

# 『持ち味ってなに？』

そもそも人の「持ち味」って何でしょうか？

弊社ではシンプルに「よい方向に発揮されるその人の個性(特徴的な部分)」だと考えています。また、持ち味は他人と比べるものでもありません。

皆さんは、江戸時代後期の農民思想家である二宮尊徳のことを知っていますか？

二宮尊徳は「持ち味」のことを「物や人に備わる良さ、取り柄」とし、それを「徳」と名付けました。また、「徳(持ち味)」を活かして社会に役立てていくことを「報徳」と呼びました。この「報徳」の考え方は、皆さんが良く知っているトヨタ自動車やパナソニック等、日本を代表する会社の経営のバックボーンにもなっています。

二宮尊徳がいうところの持ち味を引き合いに出したところですが、その他にも各界の人々が「持ち味」について大変示唆に富む名言を残してくれていますので、語録としてその一部を紹介します。

## 持ち味語録

\*弊社では各界の人々が語った「持ち味」に関する語録を冊子にまとめています。大変希少かつ価値のあるものです。ご入り用の方は、弊社ホームページからダウンロードできます。ご自由に活用ください。

## ■松下幸之助(パナソニック(株)創業者)

人間というものは、持ち味(自分の天分)を生かし切るとき、初めてほんとうの生きがいや幸せというものが味わえる。自分に与えられた持ち味を生かし、自分が責任をもって果たさなければならないつとめ(使命)を自覚し、やり遂げること。これこそが人間としての成功と呼べるものではないでしょうか。

人生や人間としての成功を、自分の持ち味を生かすことにあると考え、それを求めていくことによって、不満や悩みの解消に役立ち、個人としての生きる喜びも、社会全体の発展や繁栄も、より高いものになると思います。

## ■水口貴博(執筆家)

ありのままの自分を生かすということだけ考えていればいいのです。花で考えてみましょう。バラとユリの花があります。どちらの花も、美しい花ですよ。ただ、その美の表現はまったく異なります。バラにはバラの美の表現があり、ユリにはユリの美の表現があります。

そもそも自分は、自分にしかできないのです。花は「あのようになりたい」とは考えません。「そのままの自分を生かしたい」という生き方をしています。

自分の持ち味を曲げず、折らず、むしろ素直にそのままを表現しようとし、最初からバラはバラなので、バラとして生きることが最も自分を生かした生き方です。ユリは最初からユリなので、ユリとして生きることが最も自分を生かした生き方です。

この「ありのままを生かすこと」を自然は間違えません。しかし、人間は間違っています。人間は「欲」で物事を考えるからです。「このようになりたい」という生き方をしていませんか。

そもそも、あなたは最初から持っている自分があるのですから、その自然に反してはいけません。バラがどんなに頑張ってもユリにはなれないように、あなたはあなた以外にはなれないのです。

生き方上手な人は「なりたい」という生き方はしません。「そのままの自分を生かしたい!」と考えます。花がそうであるように、自分を知り、自分を生かした生き方が、一番の幸せになります。

## ■幸 伊知郎(教師)

皆さん、自分の持ち味は何だと思いますか。どんな人にもその人なりの持ち味があり、魅力があります。でも、その良さが気づかれていないこともあります。

Aさんはあまり器用ではなく、いろんなことが要領よくできません。失敗もよくします。周りの人から「そんなこともできないのか」などと、きついことを言われるときも多く、くよくよ考え込んでしまします。

ところで、Aさんと話していると、同じ年代の人が考えないような深いことも考えていて、時々人をハッとさせるような鋭いことを言います。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き

これはAさんが物事を割り切って考えられず、いつも考え込んだり悩んだりすることとつながっているのでしょう。要領がいい方がよいという常識的な価値観だけで評価すると、Aさんの持ち味は見えません。

B君は、学校でいつも叱られてばかりです。勉強を嫌がる、掃除道具を振り回して物を壊す、真面目な子をからかうなど常に羽目を外します。一方で、周りの子の間で気まずい雰囲気が生まれると、わざとバカなことをやってみんなを笑わせたり、孤立している子には声をかけたりもします。

ここに挙げたような人たちは、世間一般が子どもに期待することと少し違う所に持ち味を持っています。このため、その持ち味を生かすようには励まされず、そんなことではダメだと否定されることの方が多いのです。でも、それぞれが魅力を持っているし、社会にとって必要な人たちです。

周りの期待や評価を基準にした見方で、自分という人間の独特さや持ち味を見失ってはいませんか。皆さんには、自分の持ち味とずれたことを追い求めるのではなく、自分の個性をよく知り、どうすればそれを生かせるかを考えてほしいと思います。

## 1. 自分の持ち味を知る意味、他人の持ち味を知る意味とは？

持ち味は全ての人に備わっています。しかし、自分の持ち味に気がついている人はごくわずかです。多くの人は自ら他人と比べたり、他人から比べられたりして、本当の自分の良さを見失ってしまっているようです。

自分の持ち味を知り発揮することができたなら、人間としての成長の可能性と将来活躍できるチャンスは限りなく広がります。また、持ち味を発揮しているときは、自分らしくイキイキ過ごしたり働くことができ、長期的には自分らしいキャリアを歩むことができます。

では、他人の持ち味を知る意味とは何でしょうか？もっと、皆さんが他人の持ち味を知り、認めたり、ほめたり、お互いに補完しあったなら、次のようなことができます。

- 相手に「自分はできる」という自信を感じてもらえることができる！
- 相手に「自分には価値があるんだ」という存在感を感じてもらえることができる！
- 人間関係が良好になり、信頼関係を築くことができる！
- 協力しあって大きな成果を出すことができる！
- 相手の潜在能力（宝の持ち味）を開花させることができる！
- 活気に満ち溢れた「いいクラス」「いいチーム」「いい学校」にすることができる！

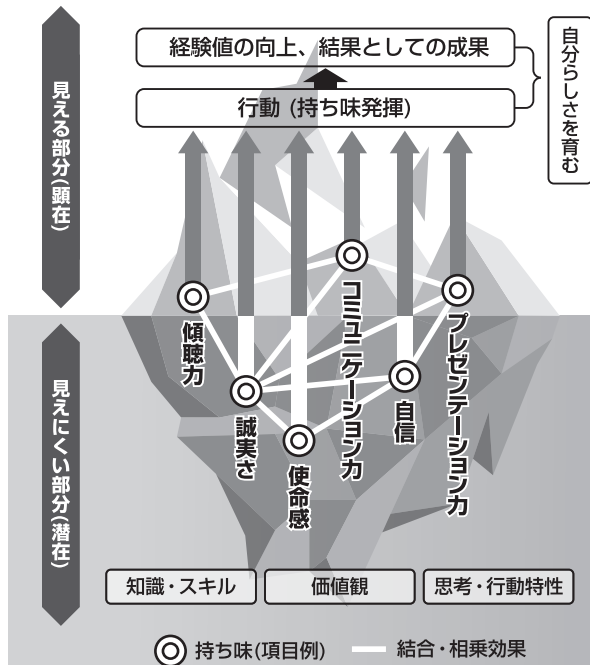
## 2. 持ち味を活かす、磨く

「持ち味を活かす、磨く」とは、持ち味を自覚し、繰り返し行動することで経験値を高め、「自分らしさ（特徴、個性）」を育てていくことです。学生生活は将来社会人として働くためのスキルや姿勢を磨き、土台をつくる場です。今、なかなか実感はできないかもしれませんが、皆さんは様々な経験の中で成長し、できること、やれることが一つ一つ増えていきます。そういった積み重ねを持ち味を発揮して実践することが大切です。

右図は、持ち味の発揮プロセスを冰山モデルとして概念化したものです。持ち味は行動することによって経験値の向上をもたらし、結果としての成果につながります。また、持ち味は単独で発揮される場合のほか、他の持ち味と結びついて発揮される場合があります。（他者の持ち味と結びつけると、大きな成果を発揮します）

## 持ち味の発揮プロセス(冰山モデル)

～持ち味は行動として発揮され、経験値を高めることで磨かれる～



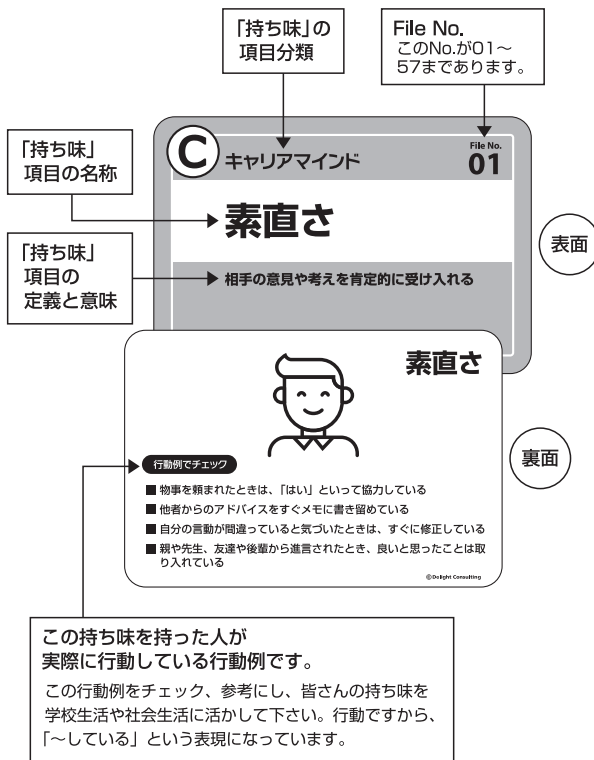
### 3. 「持ち味カード」 スチューデント版とは

「持ち味カード」 スチューデント版 (以下、「持ち味カード」という) とは、学生 (中学生から大学生を対象) の皆さんがより自己理解・他者理解を深め、持ち味を発揮して自分らしくイキイキ過ごし、組織 (クラス・クラブ・チーム・学校など) への貢献をするのに必要な項目を、57枚のカードとして厳選し・体系化したものです。

### 4. 持ち味カードの特徴(主なメリット)

- 将来、社会で活躍できる項目が厳選されており、今からカード内容について学ぶことにより、就職活動や大学入試(面接試験など)で、一步リードすることができます。
- カードになっているため、自分自身としっかり向き合うことができ、持ち味をより直感的に認識、発見できます。
- 持ち味カードの定義と行動例から、先生と学生、学生同士が持ち味について、どのような行動を具体的に発揮すればよいのか、共通の認識を持つことができます。
- 他者から見た自分がよく理解できます。自分を客観的に見直す契機になります。
- カードという形態から目に見える場所に貼り付ける(「目に見える化」)ことができ、常に自己啓発意欲の持続が可能です。
- ゲーム感覚で楽しく持ち味探しができます。

### 5. 持ち味カードの構成



## 6. 持ち味カードの体系とカード項目

項目分類	カード項目					
M マネジメント	49 勇気づけ 53 率先垂範	50 メンバーへの公平さ 54 リーダーシップ	51 ファシリテーション 55 調整力	52 フィードバック 56 先見性 57 計画立案		
S スキル	26 専門知識 32 コミュニケーション 37 論理的思考 42 目標設定 47 プレゼンテーション力	27 専門スキル 33 指導力 38 問題解決 43 チームワーク 48 創造力	28 正確性 29 スピード 34 情報の活用 39 失敗を活かす力 44 アレンジ力	30 段取り 31 タイムマネジメント 35 柔軟性 40 数値化 45 リスク管理 41 課題発見力 46 分析力		
C キャリアマインド	01 素直さ 07 慎重さ 13 継続力 18 ポジティブ思考 24 高い志	02 誠実さ 08 感謝 14 チャレンジ精神 19 自信 25 使命感	03 自己理解 09 自己開示	04 他者理解 10 意思決定 15 目的意識 20 一貫性	05 思いやり 11 傾聴力 16 目標達成志向 21 探究心	06 大胆さ 12 自己管理 17 自律志向 22 向上心 23 公徳心

※スチューデント版のカード項目は、持ち味カード・ビジネス版(76項) 学生時代に特に必要と考える項目を設定したものです。持ち味カード ティング経験から導き出された、実践的かつ社会人として活躍するた

目) から学生にぜひ実践いただきたい項目をピックアップしたものと、項目は、デライトコンサルティング社の長年にわたる人事コンサル ために必要な項目です。



## 【持ち味カードの項目分類の意味】

**M**

### マネジメント (Management)

人と組織（クラス・クラブ・チーム・学校など）の成長や運営に必要となる項目群です。現在、そして将来、人と組織の成長や運営に関わりたい皆さんは、学校生活や社会生活の中で積極的にリーダーとしての役割を果たしながら取り組んでみましょう。



**S**

### スキル (Skill)

将来、皆さんが仕事をすうえで生きてくる項目群です。学校生活や社会生活の様々な活動の中で意識して実践してみましょう。



**C**

### キャリアマインド (Career Mind)

年齢や経験にかかわらず、皆さんが他者と良好な人間関係をつくったり、自分が成長するための土台（基礎）となる項目群です。人としても大切なものです。

持ち味カードは、皆さんがすべての項目を「持ち味」として獲得することを勧めるものではありません。

皆さん自身の「持ち味」を認識し、発見し、それを学校生活や社会生活の中で活かす、または自分の「持ち味」にしたい項目を磨くことを目的としています。

また、今できていないことがあってもかまいません。できるように無理に頑張る必要もありません。

皆さんの良さや取り柄をさらに伸ばして、周囲の人たちのお役に立つことが何より重要です。

## 7. 持ち味カードの活用方法(基本編)

まず、持ち味カードの基本的な使い方を覚えましょう。  
この基本編が応用編の前提となります。

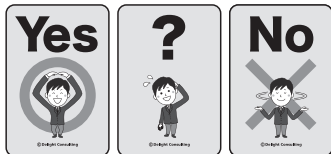
### STEP.1 持ち味カードを振り分ける

- 57枚のカードに書いてある項目と定義を読んで、直感的に持ち味カードを「Yes」「?」「No」の3つに振り分けます。



### POINT

- 深く考えず直感で分類してください。
- 他人と比べる必要はありません。



どこに  
あてはまる?



- 自分にはあてはまらない。
- 自分の特長にはない。
- ほとんど、そのような行動はしていない。
- どちらか分らない。
- ちょっと自信がないが、時々そのような行動をしている。
- まさに自分の「持ち味」だ。
- 自分にぴったり。
- いつもこの「持ち味」で自分を表現している。

### STEP.2 YESのカードを絞り込んで、選んだ理由(エピソード等)を書き出す

- YESのカードの中から特に普段から意識して行動しているカード5枚を絞り込みます。
- 選んだ理由を具体的な行動事例(持ち味を裏付ける行動・エピソード)として持ち味ワークシートや、ログノートに書き出します。



### STEP.3 自分の持ち味を発表してフィードバックを受ける

- 担任の先生、監督やコーチ、家族・友人等に、STEP.2で記入した持ち味とその理由(持ち味ワークシートの内容)を伝え、感想・意見・アドバイスのフィードバックを受けます。
- 他者からのフィードバック内容を書き留めておきます。



### 《持ち味ワークシート記入例》

カードNo. 項目名	選んだ理由 持ち味を裏付ける行動・エピソード	他者からもらった感想・意見・アドバイス等
No.13 継続力	県大会で優勝するため、2年前から毎日自主的にランニングをしている。最低3kmを目標にしている。これまで雨が降っても雪が降っても走ることを断念したことはない。	自分との約束を守ることで、相当な自信になりましたね。 継続している姿に勇気づけられた。

## 8. 持ち味カードの活用方法 (応用編)

個人

### 8-1 【持ち味の窓】を活用した自己分析

■【持ち味の窓】から自分を知り、今後、自分の持ち味をどのように活かすかを考えます。ワークショップ形式(参加者が自発的に参加する講習会)によりグループワークを行うと効果大です。

- 先生や友人などに頼んでカードを「Yes」「?」「No」の3つに分類してもらい、基本編で使ったワークシートにあなたの持ち味5つとそう思う理由を書いてもらいます。そして、自分の選んだ持ち味と他人が選んだ持ち味を【持ち味の窓】にあてはめて整理します。
- 【持ち味の窓】のつくり方は次のとおりです。4人1グループで行います。

**STEP.1** 模造紙に【持ち味の窓】(P21参照)の枠を書きます。4人全員の【持ち味の窓】をつくります。

**STEP.2** 最初につくる学生が(C)自己開示する持ち味の枠に、自分の持ち味カード5枚を置いて、なぜ持ち味と思うのかその理由を同じグループの他のメンバーに1枚ずつ話します。

**STEP.3** **STEP.2**が終わったら、他のメンバーは(B)宝の持ち味の枠に、最初の学生に対して自分が持ち味だと思う持ち味カード5枚を置いて、一人ずつ順番になぜそう思うのか理由を添えて説明します。

**STEP.4** **STEP.3**を行っているとき(C)の枠と(B)の枠に置かれた持ち味カードで同じカードがあれば、(A)自他共に認める持ち味の枠に移動させます。このとき何枚重なっているか分かるようにして重ねて置きます。また、(B)の枠の中で同じカードがあれば(B)の枠の中で重ねて置きます。

**STEP.5** 自分の【持ち味の窓】ができれば、写真撮影をして記録します。【持ち味の窓】から自分を客観的に理解して、今後の自分の成長に活かします。もらったシートを、ログノートに貼って整理しておきましょう。

- 【持ち味の窓】で特に注目すべきは「宝の持ち味」です。「宝の持ち味」を意識し学校生活や社会生活で活かしていくと、眠っていた持ち味を大きく発揮(才能の開花)できます。

## 【持ち味の窓】

	自分が知ってる 持ち味	自分が知らない 持ち味
他人が知ってる 持ち味	<b>A 自他ともに 認める持ち味</b> 自分も他人も認識している、まさにあなたの持ち味。自信をもってさらに行動のレベルをあげ、さらなる自己成長をはかる。	<b>B 宝の持ち味</b> 自分では気づいていないが、他人は持ち味として認めている。この持ち味を素直に受け入れ、日常生活の中で意識して活かしていくと、才能が開花する可能性が大きい。
他人が知らない 持ち味	<b>C 自己開示する 持ち味</b> 自分は持ち味と思っているが、他人は気づいていない。だからといって落ち込む必要はなく、持ち味だと思ふ理由を他人に伝え(自己開示)、理解してもらう。そうすると自己成長のチャンスが増大する。	<b>D 未知の持ち味</b> 自分も他人も知らない持ち味。環境の激変や命がけで何かをするときに、突如持ち味として発揮されるかもしれない。その時までそっとしておく。 <small>※実際には【持ち味の窓】ワークショップではできませぬ</small>

## 8-2 持ち味の窓を活用して自分の行動指針(行動計画)をつくる

■持ち味の窓ワークショップで作成した自分の【持ち味の窓】をもとに、今後の自己成長に向けた自分の行動指針(行動計画)を作成し、クラスで発表します。発表内容に関してクラスメイトからアドバイスをもらいます。

今後の自己成長に向けた、自分の行動指針(行動計画)を作成すれば・・・

### 1 < 行動指針作成 >

自己成長のために行動指針項目を設定し、行動指針を作成する

- P21の自分の【持ち味の窓】の(A)(B)(C)に置かれたカードの中から、自己成長に必要と思うカードを1~3枚選ぶ。
- 具体的にどんな行動をしていくのか自分のオリジナルの行動指針を設定する。行動指針は持ち味カードの「行動例でチェック」を参考にアレンジする。

### 2 < 発表 >

クラスメイトの前で発表する

- 自分の行動指針(行動計画)を紙に書いてクラスメイトに配布し、クラスメイトの前で発表する。

### 【自分の行動指針(例)】

#### ① 目標達成志向

3ヵ月後にマラソンのタイムを5分短縮する。そのために、1日の練習時間を30分増やし、毎回記録をつけ、コーチに1週間に1度アドバイスをもらう。

#### ② ポジティブ思考

うまくいかないことや落ち込むことがあったら、まず自分がどんな感情なのか冷静に受けとめた後に、ポジティブに考えたらどんなふうに変換できるのか、いくつか紙に書いて実践してみる。

### 3

#### 〈アドバイス〉 発表者に対してアドバイスや質問をする

- クラスメイトは発表者に対して、アドバイスや質問をする。

#### 【アドバイスや質問例】

いつまでにするの？ どのくらいするの？ 誰かの協力が必要では？ もっと具体的に教えて？ こんなことをやってみるとよいかも。

- 発表者はアドバイスを活かして実践の準備をする。  
※実践する前に、アドバイスをもとに行動指針(行動計画)を修正する。

### 4

#### 〈実践〉

1~3ヵ月くらい実践する  
毎日実践の記録をつける

- 日々実践し、実践した内容や気づいたことを記録する。

### 5

#### 〈実践結果の発表〉

1~3ヵ月くらい実践して、  
その結果を発表する

- 発表者は実践の結果をまとめて、クラスメイトに発表・報告する。

#### 【発表内容(例)】

- ・目標にどの程度近づけたか
- ・行動指針はどの程度実践できたか
- ・自分は自己成長できたか
- ・実践を通じて何か気づいたことはあったか
- ・クラスメイトとの関係は以前と比べてどうか

自己成長が実感でき、横のつながりができる。  
そして、自信がつく

### 8-3 持ち味の行動実践（習慣化）

■持ち味カードは、携帯したり、掲示することによって、常に意識づけるため、忘れることなく継続的に取り組むことができます。また、カード記載の具体的な行動例を繰り返し実践すれば、その行動が習慣化し、再現可能な自分の持ち味になります。

持ち味カードを携帯したり、掲示して常に意識しながら行動を繰り返し実践すれば・・・

#### 1 く計画く 実践するカードとその具体的な行動を考える

- 自分の【持ち味の窓】に出てきたカードの中で今後伸ばしたい優先順位の高いカードについて、カード記載の行動例を参考に、具体的な取り組みを考え、いつ、どんな場面で実践するのかを計画する。  
⇒お役立ちツール①「持ち味実践プラン作成シート」

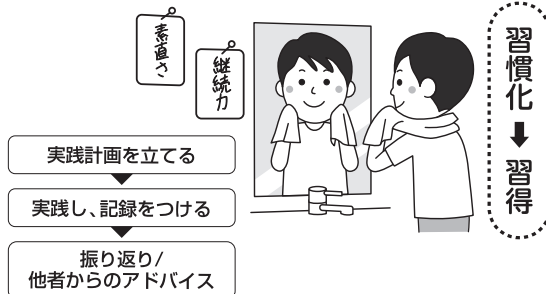
#### 2 く実践く 1を実践し、毎日記録をつける

- 上記1を日々実践し、実践した内容や気づいたことを記録する。
  - 記録をつけることで、達成感・充実感が高まり、継続することができる。
- ⇒お役立ちツール②「持ち味ダイアリー（週間）」  
⇒または、ログノートの16weekを活用して、フィードバックをもらう。“ふせん”でもらうか、直接書いてもらう。

#### 3 く振り返りく 2の記録を振り返り、今後に活かす

- 1週間ごと、1ヵ月ごとに振り返り、成功要因・失敗要因を考え、今後の取り組みに活かす。  
⇒お役立ちツール③「持ち味ダイアリー（振り返り）」  
⇒または、ログノートのセルフメイドルーブリックを活用する。
- 1ヵ月ごとの自分の振り返りについて、先生・家族・友人等から客観的な意見・アドバイスをもらう。

自分が伸ばしたい、身につけたい持ち味の行動が  
いずれ習慣化され、確実に習得することができる



お役立ちツール①～③は弊社ホームページからダウンロードできます。  
<http://www.delight-c.com/item/mochiajicard/post-1.html>  
ログノートのご購入は、弊社までお問い合わせください。

## 8-4 持ち味記録ノートによる成長記録をつける

■「自分の持ち味をさらに伸ばす」「獲得したい持ち味を獲得する」「苦手な持ち味を克服する」など、目標を設定し毎日、日記をつけるようにして記録をつけていくと、自分の成長が実感でき自信がついてきます。今日できた小さなことや変化を大切にしてください。

※自分の成長の記録には、ぜひログノートを活用してみてください。ノートの項目の順番に書き込みすることで、成長が見えるようになっています。1年間使えるノートです。

**STEP.1** P.17 (STEP.1)のように自分の持ち味カードを「Yes」「?」「No」の3つに振り分けた後、「伸ばしたい持ち味」「獲得したい持ち味」「克服したい持ち味」を優先順位をつけてそれぞれ1~3枚を選ぶ。

**STEP.2** どのような状態になりたいか、項目ごとに具体的な目標（あるべき姿）と目標を達成するために主に実践する行動を設定する。

**STEP.3** 期日を設定する。期日は1~3ヵ月くらいが良い。

**STEP.4** 何人かのクラスメイトに自分の目標や行動について知らせ共有する。

**STEP.5** 毎日、日記をつけるように「できたこと」を箇条書き程度に記録する。毎日同じことでも、小さなことでも「できたこと」を記録する。今日できたことに対し自分をほめる。できたことを実感することがとても重要。

**STEP.6** 1週間に1回振り返りを行う。また、クラスメイトからアドバイスや自分の変化についてコメントをもらう。

**STEP.7** 期日がきたら、これまでの取り組みについて目標にどれだけ近づけたか振り返りを行い、クラスメイトから自分に対するコメントをもらい共有する。

## 8-5 持ち味カード項目の言語学習

■持ち味カードの項目の意味や行動例を知っておくことは、皆さんの視野を広げ、思考を活発にします。科目の勉強も大切ですが、社会に出てからより大切なのは持ち味カードの項目内容です。今からそのことを知っておくと、近い将来、就職活動や進学、社会人として働くときに必ず役に立ちます。また、周りから一目置かれる人材になれます。

**STEP.1** 持ち味カード項目の定義を読む。

**STEP.2** 定義に書いてあることができたなら、どんな良いことが起るか想像してみる。クラスメイトと意見交換をしてみる。

**STEP.3** 行動例を見て、「自分はどんな行動を実際にしたことがあるか」「自分ならどんな行動ができそうか」を考えてみる。

## 8-6 進路選択の指針づくり

■自分の【持ち味の窓】にある持ち味カードを参考に、今後の進路(自分にあった就職先や進学の際の学部・学科)選択を考えます。自分の持ち味を軸にして、得意な学科や専門スキルを考慮し、周りの人々のアドバイスを聞きながら、進路を決定します。

**STEP.1** 学生時代の適切な時期に、自分のことを本当によく知っている人(担任の先生・監督・コーチ、クラスメイト、両親など)と持ち味の窓ワークショップをする。

**STEP.2** (A)自他共に認める持ち味、(B)宝の持ち味、(C)自己開示の持ち味の中から優先順位をつけて、自分の持ち味カードベスト5枚を選ぶ。このとき、(A)と(B)で重なったカードを優先的に選ぶ。その他は自分で決定する。メンバーが自分の持ち味に対して書いてくれた理由も参考にする。

**STEP.3** 持ち味カードベスト5を見て進路の参考にする

### ●進学する場合

持ち味カードベスト5枚を見て、将来どんな職種・職業につきたいか、得意な学科や専門スキルを考慮し、周囲の人の意見も聞きながら、学部・学科を検討する。

### ●就職する場合

持ち味カードベスト5枚を見て、どんな職種・職業が向いていそうか、得意な学科や専門スキルを考慮し、周囲の人の意見も聞きながら考える。大企業や有名な会社というよりは、自分の持ち味を発揮できそうな職種・職業で選ぶ。  
職種の例：生産・製造、設計、営業、販売、企画、サービス、研究・調査、総務、経理など

## 8-7 就職面接時やOA入試面接時の自己PRとしての活用

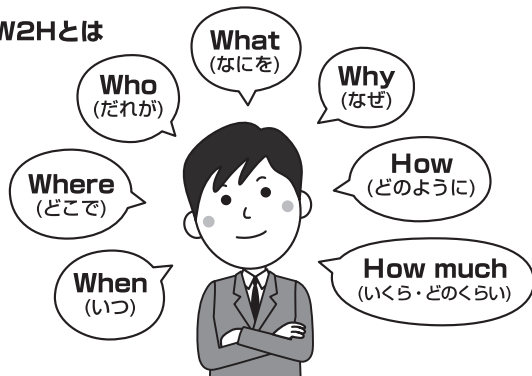
■就職面接やOA入試の面接の時に、自分の持ち味について具体的なエピソードをもとに自己PRをします。一般的な聞こえのよい自己PRではなく、自分の実体験に基づいた自分らしい自己PRをしてください。

**STEP.1** 自分の【持ち味の窓】の(A)(B)(C)に置かれた持ち味カードの中から、自分の持ち味ベスト3を選ぶ。

**STEP.2** 持ち味ベスト3を選んだ理由を、超具体的なエピソード(興味ある具体的な話)として文章にする。文章にする時は5W2H\*で2~3分程度で話せる分量とする。

**STEP.3** 先生やクラスメイトに聞いてもらい、アドバイスを受ける。

5W2Hとは





8-8 コーチング\*

■持ち味カードをコーチングツールとして活用すると、カードの“見える化効果”により、常に学生に意識づけすることができます。

※コーチングとは、メンバーが本来持っている能力や可能性を引き出し、自主的に行動できよう支援すること。ティーチングではない。

先生が持ち味カードを学生のコーチングに活用すると・・・

1 <先生>

先生が本人の可能性を感じる持ち味カードまたは本人が取り組みたい持ち味カードを選ぶ

- 先生が学生の可能性を感じる持ち味カードを選ぶ。または、学生の取り組みたいカードを受け取る。  
※先生がカードを選ぶ場合は、こうあるべきという先生の価値観で選ぶのではなく、本人の可能性が感じられるカードを選んでください。
- 学生と具体的な取り組みと目標、先生の支援内容を話し合う。
- 学生にカードを渡し、動機づけを行い、実践を促す。

可能性を感じるカードを選ぶ

学生が取り組みたいカードを受け取る



2

<学生> カードを常に意識して、学校生活や社会生活の中で実践する

- 学生に1のカードを携帯させたり、目につくところに掲示してもらうなど、常に意識づけを行い、継続的な実践・応用を促す。
- 成長実感を持たせるために、学生に朝礼やクラス会で取り組み内容を発表・報告してもらっても良い。



実践、継続

ひとつずつクリアしてステップアップ!!

3

<先生> 学生の実践をフォローし、フィードバックする

- 学生の行動を観察し、よい持ち味行動があったときは、その場で承認の言葉をかける(認める、ほめる)。
- 定期的に学生と面談を行い、進捗を確認し、改善点について支援する。

学生の自己肯定感と自己効力感の向上

## 8-9 持ち味カウンセリング

■学生の【持ち味ワークシート】や【持ち味の窓】を活用しながら、カウンセリング（積極的傾聴\*）を行います。カウンセリングの中で、本人の持ち味（持ち味を裏付ける行動やエピソード）をどんどん認めていくことがポイントです。持ち味カウンセリングの主な場面とポイントは次のとおりです。

※積極的傾聴とは、相手を受け入れ、共感的に話を聴き、その言葉の中にある事実や感情を積極的につかまうとする聴き方

### 主な持ち味カウンセリングの場面

#### 学生の能力を伸ばしたいとき

- 学生が伸ばしたいまたは獲得したいと思うカードを選んでもらい、その理由を話してもらおう。学生の話を聴き、先生としてどんな支援ができるかを伝え、共有する。
- 「持ち味の窓」（⇒P.21参照）を使って、「自他共に認める持ち味(A)」「宝の持ち味(B)」について、今後どのように自己成長に活かしていきたいかを学生に話してもらおう。学生の考えを聴き、先生としてできる支援を約束する。

#### 学生が学校生活や社会生活で悩んでいるとき

- 悩んでいる原因とそれに関連するカードを学生に選んでもらい、そう思う理由を聴き、適切なアドバイスをする。
- 学校生活や社会生活で上手くいくにはどのカードが必要になるか学生に選んでもらい、そう思う理由を話してもらおう。学生の話聴き、適切なアドバイスをする。



## 8-10 行動指針づくり

■持ち味カードを使って、学生の「個」のちからと「クラスやチーム」のちからを最大限に引き出せる基盤ができます。学生同士の連帯感と「いいクラスやチーム」は自分たちがつくるという意識が生まれ、行動の質が向上します。

メンバーがもっと「いいクラスやチーム」するために、どんな行動をしたらよいかを議論し、行動指針を作成すると・・・

### 1 <個人ワーク> 個人で行動指針項目を選ぶ

- まずは個人で考え、自分がクラスやチームとして取り組みたい持ち味カード項目を5つ絞り込む。また、その理由を考える。

### 2 <グループワーク> グループ(4人が理想)で行動指針項目を設定する

- 各人が選んだ持ち味カード5枚を持ち寄り、メンバー全員で議論し、自分たちが取り組みたい持ち味カード項目をグループとして、5~8つくらいに絞り込む。

持ち味カードを使うことで

- 全員参加で議論ができる！
- 議論が明確になる！
- 共有・浸透が同時にできる！

### 3 <行動指針づくり> 2で選択したカードの行動指針を作成する

- メンバーが議論しながら 2で選択したカードの行動例を参考にして、実際の活動場面をイメージしながら、オリジナルかつ具体的な文章に変更・修正し、行動指針としてまとめる。「~しよう」という表現にするとよい。

持ち味カードの行動例を必要に応じて変更し、オリジナルの行動指針を作成する

【私たちが決めた行動指針(例)】



素直さ：相手の意見や考えを肯定して受け入れよう



ポジティブ：いかなる状況でも、みんなで支え合い、前向きな姿勢や考え方で行動しよう



コミュニケーション：自分も相手も大切にしながら、自分の考えを言葉にして伝えよう

⋮

### 4 <行動指針の実践> 実践し、行動指針をブラッシュアップしていく

- 各メンバーが行動指針を実践し、朝礼やクラスミーティングなどで報告や情報交換を行う。また、実践で得たノウハウを盛り込みながら、継続的にブラッシュアップする。

メンバーのベクトルを一致させることができ、チーム力の向上や自律人材の育成につながる

## 8-11 クラスやチームの風土改善

■持ち味カードを使って、普段は遠慮したり、照れくさくて伝えられなかった承認や感謝の言葉を、面と向かって率直に伝え合うことができます。その結果、自分が必要とされ、貢献していること、他者に助けられていることが実感でき、お互いを認め合う風土が形成されます。

持ち味カードを使って、お互いに承認や感謝の言葉を率直に伝え合うことで・・・

### 1 〈自己分析〉 各自が“持ち味”と思うベスト3のカードを選択する

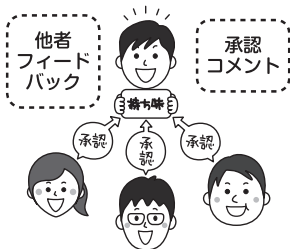
- 各自が持ち味カードを使って自己分析を行い、自分の持ち味だと思うベスト3のカードを選ぶ(⇒P.17 基本編を参照)。

持ち味  
ベスト3の  
選択



### 2 〈他者フィードバック〉 順番に1を発表し、他者が承認・コメントをする

- ひとりずつ選んだカード項目とその理由(持ち味を裏付ける行動、エピソード)を発表する。



- メンバーは発表者の説明を傾聴し、肯定的な承認の言葉を伝える。また、本人が発表したエピソード以外で、持ち味が発揮されていたと思うエピソードがあれば紹介する。

### 3 〈今後の取組み発表〉 各自が今後の取り組みを順番に発表する

- 上記 1 2 (特に他者コメント)を踏まえ、持ち味を伸ばすために今後取り組みたいこと、それによってどのようにクラスやチームに貢献していきたいかを発表する。メンバーは本人を励まし、協力・支援を約束する。
- ・普段は遠慮したり、照れくさくて言えなかった承認や感謝を、面と向かって、率直に伝え合うことができる!
- ・自分の価値観や想いを語り合うことで、親近感や仲間意識を持つことができる!
- ・今まで認識していなかった新たな持ち味やエピソード(行動)を発見することで、自分に自信を持つことができる!
- ・自分が必要とされ、貢献していること、他者に助けられていることが実感できる!
- ・お互いの理解が深まり、コミュニケーションが活発になる!

お互いを認め合う風土が形成され、クラスやチームの活性化や人間関係の改善につながる

## 8-12 持ち味クラス・チーム運営

■「持ち味クラス・チーム運営」とは、先生が、日々のクラス・チーム運営に持ち味発想を取り入れ、学生一人ひとりと向き合い、持ち味を把握し、持ち味が発揮できるよう個人と関わること、また複数の学生の持ち味を結び付け、クラスやチームでよりよい問題解決、新しいアイデアを出させていくことをいいます。具体的には、次のことを日常的に実践することです。

### ①教育現場で学生の持ち味を認める（承認する）

●先生が学生の「持ち味」を知り、その持ち味を教育現場の中で認めていくことをします。先生は日常の教育現場の中で学生をよく観察し、持ち味の発揮に関する行動がみられたら、その場でその事実をさりげなく言葉で伝えていきます。承認のポイントは「小さいことこそ伝える」「具体的に伝える」「意味づけして伝える\*」の3つです。

※意味づけとは、学生の存在、行動（プロセスや頑張り）、結果の事実に価値があることを伝えること

例)「君の笑顔は素敵ですね！」

↓ 意味づけすると

「君の笑顔は、教室を明るくしてくれます!」

↑ 価値

●学生は先生から持ち味に関する行動を認めてもらうと、「自分是可以する」という自信を抱くようになります。そうになると自律的に学業やクラブ活動に関して努力するようになります。また、認められることにより、先生に対して信頼を深め、支持するようになります。

### ②「持ち味を活かす」「持ち味を獲得する」を支援する

●「持ち味を活かす」支援では、先生は学生の【持ち味の窓】を参考にして、学生が「持ち味」をどのように自己成長に活かしていきたいかを考えてもらいます（持ち味カウンセリングを行う）。

「持ち味」を自己成長に活かす視点は、「行動の質を上げる」「行動の範囲(種類)を広げる」ことです。

先生から「こうしなさい」「こうすべきだ」というティーチングは必要ありません。まず、本人の考えを「超」具体的な行動として文章に書き出してもらい、日常生活の中で実践してもらいます。

●「持ち味を獲得する」支援では、学生が今後持ち味にしたいと思っているカードの項目について、そう思う理由とその持ち味を発揮してどんなことを実現したいかを共有します。

先生は、その持ち味が発揮できる取り組み環境をつくり、支援します。

●どちらの支援も、学生が自ら設定した目標に対する具体的な行動を先生が観察し、1週間に1回くらい承認し、少なくとも1ヵ月に一度くらい振り返りの場を設けます。

先生は学生が目標やあるべき姿にどれくらい近づけたか、どの程度行動することができたか、その事実を客観的に伝えます。

## 最後に

生きることや働くことには不安や悩みが尽きません。また、他人を羨ましく思ったり、他人と比べて自分を見失ってしまいがちです。

しかし、本当に大切なのはありのままの自分と向き合い、自分の「持ち味」をフルに活かしていくことです。

ぜひご自身と周囲の人々の持ち味を再確認し、お互いの持ち味を認め活かしあっていただけたらと思います。

そうすれば、必ず人生は開け、周囲の人々を幸せにでき、社会に貢献することができます。

人から特別に賞賛される人生でなくても、自分に納得のいく人生であって欲しいと思います。

「持ち味カード」を手にした皆さんの栄えある前途を願います。

